

東沢 釜の沢東俣沢登り山行報告書

(山域) 奥秩父 笛吹川水系

(コース) 西沢溪谷入口駐車場～山の神～魚止めの滝～両門の滝～甲武信小屋～駐車場

(日時) 6月6日(土曜日)～6月7日(日曜日)

(天候) 曇り(一時青空見える。)

(参加者) CL:内堀(記録)・SL:渡邊3・斉藤健・澤田路・上茂・大塚

(山行タイム) 6月6日(土) 西沢溪谷入口駐車場 10:00～山の神 13:00～魚止の滝 15:00

6月7日(日) 魚止の滝 6:15～両門の滝 7:30～甲武信小屋 12:10～駐車場 16:45

(山行報告)

6月6日(土)

斉藤健さんの車で、上茂さん、大塚さんを拾い津田沼駅で待合わせして、澤田路・内堀が乗車して、渡邊3ちゃんの自宅に向かう。車を乗り換えいざ出発。既に首都高は両国手前で渋滞表示があり、湾岸線より首都高・中央道に向かうが既に渋滞が始まっており、中々進まない。やっと石川PAに到着し暫しトイレ休憩を済ませる。ここからは比較的車が順調に流れ勝沼ICまで来た。時計を見ると既に9:00を過ぎている。雁坂道を進み西沢溪谷入口駐車場にきた。準備を済ませ出発したのが10:00過ぎ頃であった。林道を進み西沢・東沢の二俣の吊り橋を超え東沢の渡渉場所が出て来た。奥には複数メンバーが入渓している事が目視で確認出来た。ここで、沢靴・ハーネス・諸々を体につけ出発する。昨日から降った雨の影響か川の流れが強く見える。渡邊3ちゃんのサポートで渡渉にする。旧登山道と沢を交差しながら前に進み、ホラの貝ゴルジュに出て来た。立派である。健ちゃんは今度撮影しに来たいと口ずさむ。このゴルジュを右側から高巻き進むが、一段低い所を通り行き止まりとなり引き換えし上の道に進み、ようやく山の神祠が見えた。ホットー安心した。



ここより本格的に沢登りである。乙女ノ沢・東ノナメ沢・西ノナメ沢・金山沢を追加しようやく魚止ノ滝手前が出る。本日この場所に来て推量が多く、渡邊3ちゃん。上茂さん相談の上、本日遡行STOPとし、幕営地を探すことにする。先に進んでいたパーティもこの滝の前で幕営していた。良い所にテント張っているな。我々は少し下降して幕営地をゲットした。テントを張り、たき火の準備・食事の準備と別れ次々と進んでいく。ご飯が炊け、ポトフ・副菜が出来たころ、宴会がスタートした。まずはビールにて乾杯。お酒も回って来て、空は青空が少しだけ見えている。明日の天気と推量が減ることをお祈りした。夜も更けお酒も相当体の中に入り打ち止めのサインが出たころ、宴会終了しテントにシケコミ、速攻で就寝した。

途中、テン場が斜めのため、体が落ち小さくなっている自分がいた。慌てて体制を立て直し、また、就寝を繰返し、4:40頃全員で起き出した。



6月7日（日）

渡邊3ちゃんは焚火の準備が早く、河原に出たころには既に火が付いていた。慌てて朝の食事の順位取り掛かる。昨夜の残りのご飯・ポトフをおじやに、うどんを作り朝食が出来上がり、残すことなく全て完食した。出発の準備を進めるが思い出せなく道具を探すのに時間を費やす。ようやく準備が整った。先行パーティは相当早く出発しており、我々が出発する頃には、影も形も無くなっていた。本日の推量は相当減っているのが判ったが、魚止ノ滝に向かい昨日と比較して、少ないことが判り一安心。魚止ノ滝の右岸スラブを灌木とブッシュ頼りに登る。その先は千畳のナメが出現する。ようやく沢らしくなってきたな。気持ちが良いと感じる。千畳のナメは早々に過ぎ、何本か滝を通過し6mの滝を高巻きゴー口帯が出現する。



その先で両門ノ滝が待ち構えてくれた。両側の滝から水が流れており、美しい。



斉藤健さんをバックに1枚写真に収める。両門ノ滝は左岸より巻いて登る。マヨイ沢とやげんの滝に挟まれた場所を小さく巻くと、苔がある広々とした台地、ここが幕営地に最適な場所であったことが容易に推測される。そこを過ぎると長いゴロ帯と倒木に悩ませられ嫌になる。ゴロ帯に入ると先に進んでいたパーティに追いつく。相当早く出ているのに遅いなーと思い、進むが、先行パーティと上手く合わない。一人、バテて歩けない男の子発見。辛そうである。最後はリーダーと思われる人にザック全部担ぎ、カラミで上がっていた。それでも、辛そうであった。我々は、途中休憩を入れ時間調整する。ゴロ帯が長かったせいかもしれないが、私自身疲れたね。ナメと小滝が続き更に進むと大ナメ滝が現れ、その先にはポンプ小屋がかすかに見えた。先行パーティはロープを出しており、我々も必要かと思ったが、近くに行くと大ナメ滝の左岸を容易に登れポンプ小屋に到着した。暫し休憩後に甲武信小屋に到着した。やった。12:10であった。人は多く100名山は人が多いと感心する。小屋前ベンチがゲット出来たので、沢靴始め身に着けていた物を外し、アプローチシューズに履き替える。スッキリ。



隣ではカップラーメンを小屋に注文した人たちがいて、羨ましく見ていたが、3ちゃんから朝のうどんの残り(2袋)があるとわれ、ナイスと思い、ガス・コップフェル・水を準備しうどんを炊き上げる。最後に残っていた餅6個投入して、完成。各自速攻で完食する。下山開始を始める前に記念撮影を1枚収め、下山開始。石楠花が下山時、心を和ませてくれた。



先行パーティも初めの休憩前に抜かし、順調に下山したが、私は2本目手前から親指の裏側が擦れ豆になって来ていた。我慢しながら下山を続け、林道に出た時にはホッとした。16:45分今シーズン初めての沢登りとしては、2日目の行動時間が長く、疲れてしまった。これから来る熱い夏の時期を乗り切るため、私自身もう少し鍛錬が必要と感じた。沢の汗を温泉で流し、帰り道ラーメンをお腹に入れ中央道の渋滞に突入した。あとはただゆっくり進み帰葉した。